

平成30年度 相武台地区まちづくり懇談会結果報告

- 1 日 時 平成30年11月9日(金)午後7時から午後8時18分
- 2 場 所 相武台公民館大会議室
- 3 市側出席者 梅沢副市長、佐藤南区長、小林教育局長、阿部南区副区長
齋藤市民局長
- 4 出席委員等 18人
- 5 傍聴者 3人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ 1	地域の拠点「そあら」(グラウンド・体育館)について
概 要	地域の拠点「そあら」(グラウンド・体育館)は、鍵の貸し出し以外の管理及び運営の一本化について、平成27年度の懇談会において実現できるよう努めていくとの回答をいただいているが、相武台まちづくりセンター・公民館が移転して2年経過する中で、市の検討状況について改めて懇談を進めていきたい。
課題事項1	管理の一本化について
概 要	<p>地域にとって貴重な施設である磯野台体育施設は、地域の拠点「そあら」としてスポーツ及び文化活動の拠点となるよう、同じ敷地内にある相武台まちづくりセンター・公民館で管理の一本化を図り、所管課はまちづくりセンターに、鍵の管理は公民館で行うことが望ましいと考えている。</p> <p>まちづくりセンター・公民館が移転して2年経過しているが、市の方針について伺います。あわせて、所管課がどこになるかで、どのような影響があるかを伺う。</p>
課題事項2	施設のメンテナンスについて
概 要	<p>体育館の入口にある水飲み場やトイレは、施設の老朽化及び衛生面がよくないため、施設利用者から改修してほしいとの声が挙がっている。グラウンドや体育館は子どもから高齢者まであらゆる世代の利用者がいるため、トイレについてはバリアフリーにするなど対応してほしいと考えているが、今後の修繕等の予定について伺いたい。</p> <p>また、幅広い世代の地域住民が快適に有効活用できるよう、グラウンドの周辺に手や足を洗うことのできる場所や体力向上につながる健康器具を設置するなどの環境を整備いただき、地域の拠点「そあら」のグラウンドとして活用していきたいと考えているが、今後の市の方針について伺いたい。</p>
市の取組等の説明	<p>課題事項の1について、旧磯野台小学校のグラウンドと体育館は、現在、学校開放をベースとした暫定的な利用が行われており、利用調整は、磯野台体育施設開放運営委員会とスポーツ課が行っている。こうした中、平成28年9月に相武台まちづくりセンター及び公民館が「そあら」と同じ敷地内に移転し、その翌月から、グラウンドと体育館の鍵の貸し出しは公民館とまちづくりセンターが行っている。</p> <p>グラウンドの管理運営については以前からまちづくり懇談会で課題をいただいており、南区役所が中心となって検討・調整を進めているところである。</p> <p>南区役所としては、地域の拠点施設である相武台まちづくりセンターあるいは公民館のどちらかで管理運営することが望ましいと思っている。</p>

	<p>まだ全体としての意見はまとまっていないが、関係者の方々と意見交換や協議等も行いながら実現できるように努めてまいりたい。</p> <p>課題事項2について、体育館の屋外トイレの改修については、相模原看護専門学校施設の施設として使われていることから、学校運営上は十分な施設の維持管理ができていたため、現時点では改修等の予定はないとのことである。</p> <p>次に、グラウンド周辺への手洗い場や健康器具の設置についてである。幅広い世代の方々の体力向上につながる環境を整えていくことは重要であると考えている。グラウンドの管理運営のあり方が決まった後、利用状況や地域の皆様方のご意見をお聞きしながら検討してまいりたい。(南区役所)</p>
<p>主な質疑等</p>	
<p>発言要旨</p>	<p>地域の拠点施設であるまちづくりセンター・公民館のどちらかで管理運営することが望ましいと考えているとのことであるが、どのような考え方で検討を進めているのか、もう少し具体的に伺いたい。</p>
<p>回答</p>	<p>1つの方法として、グラウンド部分全てを南区の財産に所管替えし、管理運営の一元化を図った上で、それを相武台地区自治会連合会にお貸しし、地域の方々にご利用いただくことを考えている。</p> <p>こうした形であると、グラウンド取得の経緯等を踏まえた上で地域の要望や意見を酌むことができるのではないかと考えている。現在、市の関係課と協議を進めているところであるが、今後、皆様にもご意見を伺いながら実現に向けて取り組んでまいりたい。(南区役所)</p>
<p>発言要旨</p>	<p>地域の皆が平等に利用できる具体的な方策を検討しており、その1つの方法として、グラウンドを相武台地区自治会連合会に無償で貸し、地域の方々に利用していただくという回答があった。</p> <p>これは、管財課や市民協働推進課が行っている管理業務を南区に移管し、現在スポーツ課とともにグラウンドと体育館の利用者調整を行っている磯野台体育施設運営委員から、運営をまちづくりセンターに移行して管理運営の一本化を図るということか。</p>
<p>回答</p>	<p>その通りである。管財課が持っているところや、市民協働推進課がふれあい広場用地として持っているところもあるが、線引きがされているわけではなく、現在グラウンドとして一体的に利用いただいていることから区役所で一元的に管理できるようにしたいと考えている。</p> <p>市の財産をお貸しするに当たっては、法的な課題もあるので、直ちに対応できるとは申し上げられないが、現在の方針はそういった状況である。(南区役所)</p>
<p>発言要旨</p>	<p>課題事項2について、メンテナンスは難しいというお話であったが、利用者からすると外トイレや手洗い場は使いにくい。わざわざ公民館まで来る人もいるが、公民館が開いていない時間帯に利用する人もいるので、外トイレや手洗い場を改善していただくとより気持ちよく利用できるのではないかと。</p> <p>ここの体育館は、利用団体が頑張ってきたものなので、よりよい状態にしていいただければ、利用者も増えるであろう。一般の方も気持ちよく入れるようなものをつくってほしい。</p>
<p>回答</p>	<p>色々な行事にお邪魔した際に、各施設も見せていただいている。古いながらもきれいに磨かれていて、地域の方たちが一生懸命手入れしてくださっていること</p>

	<p>がよくわかった。</p> <p>看護学校の施設としてお貸ししているところを、学校の教育の合間に地域の方たちに利用いただくという形式をとっているので、直ちにとはいかず、我慢していただいているのはよく承知している。</p> <p>皆さんが気軽に使えるような「そあら」にしたいという思いはしっかり受け止めさせていただく。(南区役所)</p>
発言要旨	<p>「そあら」ができる前から、特定の団体が優先利用してしまい、他の団体がなかなか利用できないという状況がある。まちづくりセンターから話をいただき、調整が進んでいるようであるが、土日・祝日はやはり特定の団体以外は使えない状況が続いている。他の市施設のように一般開放したら大変な競争率になってしまうことも懸念されるが、当該団体の方と話をすると、行政からこんな形で使っていこうという提案が出れば、それに従おうと考えているという話も聞いている。</p> <p>管理面とはまた別に、一步前進した使い方ができるようお考えいただけたらと思うので、よろしく願いしたい。</p>
回答	<p>管理面を早急に整え、課題を整理したい。運営面の協議の際には、御意見を伺いながら色々な方法を検討してまいりたい。(南区役所)</p>

テーマ2	不審者対策について
概要	近年、共働き家庭やひとり親家庭などが増えてきており、また核家族化も進む中で、地域ぐるみで不審者から子どもの安全を守る体制づくりが必要であると考え、市としての支援策や他地区での取り組み状況などについて伺いたい。
課題事項1	情報の共有について
概要	不審者が地域に出現した場合、安全・安心メールを登録していれば情報を得ることも可能であるが、配信までに時間差があることが多い。より確実に子どもたちの安全を守るためにも、最新情報を迅速に得ることが重要かと思うが、市としての考え方をお伺いしたい。
市の取組等の説明	<p>南区の安全・安心メールは、相模原南警察署からの依頼により、南区役所の地域振興課が配信している。南警察から情報をいただき、それを発信する仕組みになっている関係で、南警察で公開に支障があると判断をした場合には、区役所に情報が来ないケースもある。このため、早いもので警察発表から約2時間で発信できているものがある一方、発信が翌日になってしまったものも幾つかあった。</p> <p>区役所としても、皆様の安全・安心を守るためには、犯罪・不審者情報の共有は重要であると認識しているため、依頼があった場合には速やかに対応している。ただメールを配信するだけではなく、事案によっては防犯パトロールの実施や、青色パトカーを出して安全を見守っているほか、関係地域のまちづくりセンターや自治会長にも直接連絡させていただくなど、色々な方法を用い、なるべく早く地域の皆様方に注意喚起を促すことに努めている。</p> <p>また、5月16日から南警察署がツイッターを配信するようになり、現在700名を超える利用者が登録されていると伺っている。こちらでは、安全・安心メールの元となる内容が載っており、より早く情報を得ることができる。犯罪情報だけではなく、プラスアルファの情報も得ることができると伺っているため、是非活用してほしい。（南区役所）</p>
主な質疑等	
発言要旨	<p>南警察のツイッターや青色パトカーの実施などは全く認知していなかったため、学校運営委員会で共有させていただく。</p> <p>安心・安全メールは以前に比べるととても速く入ってくることが多くなったように思う。今後も早めに流していただければ、保護者も安心して子どもたちを見守ることができると思うので、引き続きよろしくお伺いしたい。</p>
回答	-
課題事項2	安全な登下校について
概要	登下校時の通学路において、自治会や民生委員などの協力をいただき見守り活動を行っているが、自宅から登校班の集合場所までの間や下校時に1人になる時間帯など安全確保が困難なときがある。見守り活動や防犯パトロールだけでは補えない状況において、通学路への防犯カメラの設置や不審者の抑止力となるような対策について、ほかの地区での取組や市としての考えをお伺いしたい。
市の取組等の説明	<p>登下校の安全について、改めてPTA等への注意喚起を促すとともに、児童・生徒への安全指導を実施した。特に小学生には、イラストでわかりやすく作成した防犯安全プログラム「安全教室」を使って指導している。</p> <p>国においても、今年6月に「登下校の防犯プラン」を取りまとめており、これ</p>

	<p>を受け本市でも学校やPTAを中心に防犯上の危険箇所の点検を実施いただいた。結果については、今後、まちづくりセンターを通じて各地区に情報提供させていただき予定である。</p> <p>子どもたちが安全に安心して過ごすためには、地域の方々による通学路の巡回や見守り活動が大変重要であると考えている。防犯カメラの設置は見守り活動を補完するための手段として大変有効であると考えているので、設置の際には、通学路にも配慮して設置いただければと思う。</p> <p>また、今年度の新規事業として各地区の見守り隊を対象とした情報交換会を開催した。見守り隊同士で相互に情報交換し、地区の取組に生かしていただきたい。一例として、共通の帽子や腕章をつけて、犬の散歩、買い物等日常生活の中で見守り活動を行う取組があると聞いている。そのほか、警察署のホームページなどもぜひ参考にさせていただきたい。</p> <p>今後も子どもたちが安心して通学できるように、地域の皆様のご協力をいただきながら通学路の安全確保に取り組んでまいりたい。(教育局)</p>
<p>主な質疑等</p>	
<p>質問要旨</p>	<p>朝は登校班で登校しており、保護者がついて行けることも多いが、下校は学年により時間が異なるため、見守るのが難しいと感じている。</p> <p>普段の生活の中で何気なく抑止力になればという話があった。誰かが外にいるだけでも抑止力になると思うので、小学生が下校する時間にあわせて出歩いてもらうなど、うまく地域に伝えていけたらと思っているが、地区の放送で「下校時間になる」旨を案内し、地域の方に「外に出てみよう」と思っただけで取組はいかがか。</p>
<p>回答</p>	<p>放送というとひばり放送等になると思うが、災害時等のいざという時を想定した放送なので、あまり頻繁に放送するのも支障があると思う。</p> <p>見守りについては地域の皆様にお世話になっているが、完璧に見守っていただくのはなかなか難しいので、子ども自身にも犯罪に巻き込まれないような教育をしつつ、「ながらパトロール」等で抑止に繋げていきたい。(教育局)</p>
<p>質問要旨</p>	<p>先ほど防犯に関しての情報交換会の話があったが、それはいつ頃、どういう方々を対象に行われたのか。</p>
<p>回答</p>	<p>8月23日に各地域の見守り隊の方を対象に、情報交換会を実施した。</p> <p>今年度からの実施のため、周知が不足している面があったかと思うが、各地区の工夫した取組を共有していこうということで始めた。引き続きやらせていただきたいので、よろしくお願ひしたい。(教育局)</p>
<p>質問要旨</p>	<p>情報交換の結果を各地区に流してほしい。他地区の取組を資料にしてもらえれば、それを参考にして相武台地区での取組を考えることもできる。</p>
<p>回答</p>	<p>承知した。皆で情報共有し、取組を広げていくということが趣旨なので、しっかり情報共有をさせていただきたい。(教育局)</p>
<p>発言要旨</p>	<p>自治会単位でイベントを実施し、地域で交流を持つことが重要ではないかと思う。見守り活動も、知らない大人が並んでいても子どもは寄りつかないが、自治会でイベントを実施すれば、様々な世代が集まり顔見知りになることができる。</p> <p>私自身、自治会長職に就いていたが、年に1回バーベキュー大会を開催していた。あまり遠くまでは行けないが、近所のイベントなら参加できるという高齢者</p>

	の方も大勢いるので、そういう方々の見守りにも繋がられていた。このように、地域での交流をしっかりとっていくことも大事ではないかと思うが、いかがか。
回答	見守り隊の方だけにお任せするのではなく、地域で顔の見える関係を作り、協力していくことは、日常だけでなく災害時も含めとても大切な考えだと思う。 (教育局)